

平成 30年 10月 20日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市浅野字馬東42-3

団体名 いちごーきっず

代表者 職・氏名 会長 田中久美子

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	ママのための社会参画意識向上事業		
2 事業の分野  〔主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。〕	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他(	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護 )
3 支援金交付申請額	267,000円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	453,000円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	439,000円
当該事業によって得られる収入 (c)	186,000円
支援金交付申請額※ 上限: 「(b) × 2 / 3」 または 「(a) - (c)」 のいずれか高くない方	267,000円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	いちごきっず		
市内事務所の所在地	〒491-0871 一宮市浅野字馬東42-3		
代表者職・氏名	会長 田中久美子		
設立年月	2016年 4月	構成員の人数	3人
U R L	<a href="https://ameblo.jp/ichigokids138/">https://ameblo.jp/ichigokids138/</a>		
連絡先	(担当者氏名) 田中 久美子		
※この申請に関する問合せに対応できる方	電 話	090-4229-3758	F A X
	E-mail	ichigokids138@gmail.com	
団 体 の 目 的	一宮において「ママの元気は地元の力」をモットーに、子育て中の母親の意識世界の拡大、スキルアップ、ライフワークバランスを保った社会参画の手伝いを行う。		
主 な 事 業 内 容	「ママのためのプチ起業セミナー」を開催し、今までの経験や特技を仕事にしたいと考えている母親の疑問を解決し、本人が望む成功へと導く。またその発表会として「マルシェ」を開催し、実力を発揮してもらう。マルシェでは出展者の未就園の子供の託児つきを特徴とし、小さな子供を抱えた母親の参加をしやすくする。		
主 な 活 動 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年4月団体設立</li> <li>・2016年5月～9月「ママのためのプチ起業セミナー」開講。受講生8名</li> <li>・2016年10月「第1回いろどりマルシェ」開催</li> <li>・2016年12月～2017年2月ママのためのプチ起業セミナー2期」開講。受講生平均10名</li> <li>・いろどりマルシェ開催。2017年3月第2回(250名)・9月第3回(350名)、2018年2月第4回(400名)2018年9月第5回(450名)</li> <li>・ママのためのプチ起業セミナー、2017年5月～7月「3期」(5名)、2018年5～7月5期(10名)</li> </ul>		
今年度予算額	453,000円	昨年度決算額	290,000円
条例第2条第3項に掲げる要件について	すべて満たしている ・ 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有(補助金等の名称: ) ・ 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>いちごーきっず</p>
<p>事業の名称</p>	<p>ママのための社会参画意識向上事業</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間 (準備期間や後処理期間も含めてください)                  平成31年4月 1日 ~ 平成32年3月31日</p> <p>(2) 実施場所                  市民活動支援センター会議室および一宮市民会館と大平島公園</p> <p>(3) 受益対象者                  子育て中の母親</p> <p>(4) 実施体制                  団体運営3名、講座は外部講師に委託。マルシェ当日はボランティアスタッフを動員</p> <p>(5) 具体的な内容                  平成31年5月~7月、11月~1月「ママのためのプチ起業セミナー」を開講。講座は外部講師に委託。8月12月にマルシェの事前説明会を開催、9月・2月に「いろいろマルシェ」開催。「マルシェ」とはフランス語で「市場」との意味で、出展者がブースを借り自分の手作りのもの・サービスを来場者に提供する、近年流行の販売スタイルである。このマルシェに託児サービスを設け、他の団体との差別化を図る。</p>
<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>セミナーを受講した直後は創意工夫の意欲を抱くが、それを実現したかどうかの確認ができないと感じた。継続的なサポートを行うことで行動を起こす手助けになるのではと考える。</p>
<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>一宮において「ママの元気は地元の力」をモットーに、子育て中の母親の意識世界の拡大、スキルアップ、ライフワークバランスを保った社会参画の手伝いを行う。</p> <p>現在、女性の社会進出は政策にも盛り込まれ重要視されているが、実際には妊娠・出産を機に社会的立場をストップさせてしまう女性が多数である。産休・育休を取得しても以前のように自由に働けず、子供の急病への対応、また家事育児とのバランスが取れないことへの不安、または復帰してみたものの家事育児とのバランスがとれなかった、ご主人の転勤などさまざまな理由で現在仕事をしていない母親がとても多い。出産前のキャリアを生かしたいという気持ちと、家事と子育ても自分でこなし両方を諦めたくないというライフワークバランスを保った働き方が求められている。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

	<p>代表自身は長子を1歳になった4月から保育園へ預けフルタイムで仕事へ復帰したが、仕事と家事育児をすべてこなすことへ体力の限界を感じ、二人目の育休復帰は断念。改めて職探しをするもののライフワークバランスを保てる仕事は限定的になり個人の能力とマッチするのは難しいと感じた。</p> <p>そんな折、「プチ起業」や「マルシェ」で個人の経験や特技を販売し活躍している人たちに出会い、自己実現を叶える姿に深い感銘を受けた。その後プチ起業に興味がある、マルシェに参加したいけれど一歩が踏み出せないという問題を抱えた母親たちと交流し、彼女たちの抱える不安はとでも小さなもので、一歩を踏み出す勇気さえあればだれでも実現可能な夢だと感じ、そのあと押しの手伝いがしたいと強く思った。</p> <p>「ママのためのプチ起業セミナー」を行い、自分で成功を収めたい「プチ起業」希望者や、数年間社会とのかかわりがなく社会復帰に不安を抱える母親の疑問や不安の解決、自己実現を叶える。</p> <p>発表会のマルシェにおいては、来場者のキッズスペースを配置する形式はあるものの、出展者の託児があるものは少ない。未就園児がいる参加者は保育所の利用、身内に頼むなどせねばならず、また「子連れ出展NG」と特に記載がないイベントにおいても、連れた子供が騒ぎだす、走り回るといったことで、他の参加者の目が気になるケースが多い。託児を設けることで講座の受講やマルシェの出展へのハードルを下げ、より多くの母親の参加を容易にする。</p>																						
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>「プチ起業セミナー」は受講生に1単元当たりにつき費用負担を求める。講師への謝礼の差額に助成金を使う。</p> <p>需要のある講師は謝礼が高く、現状では参加者のニーズに答えられない状況である。託児は有資格者を保有する業者に委託することで保険料を抑えながら、利用者の安心を得る。</p> <p>施設利用料と託児代に助成金を使用する。費用負担があることで参加を躊躇する母親が多いため、費用負担を抑え多くの参加者を集めたい。</p>																						
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="472 1473 663 1536">時期 (月)</th> <th data-bbox="663 1473 1410 1536">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="472 1536 663 1576">5月</td> <td data-bbox="663 1536 1410 1576">成功体験をワークする&amp;現状把握</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1576 663 1617">6月</td> <td data-bbox="663 1576 1410 1617">自分の魅力を探す</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1617 663 1657">7月</td> <td data-bbox="663 1617 1410 1657">セミナー内容選定中</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1657 663 1697">8月</td> <td data-bbox="663 1657 1410 1697">いどりマルシェ事前説明会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1697 663 1738">9月</td> <td data-bbox="663 1697 1410 1738">いどりマルシェ開催</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1738 663 1778">11月</td> <td data-bbox="663 1738 1410 1778">継続的にビジネスを支援する1回目</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1778 663 1818">12月</td> <td data-bbox="663 1778 1410 1818">継続的にビジネスを支援する2回目</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1818 663 1859">1月</td> <td data-bbox="663 1818 1410 1859">継続的にビジネスを支援する3回目</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1859 663 1899">1/2月</td> <td data-bbox="663 1859 1410 1899">いどりマルシェ事前説明会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1899 663 1971">2月</td> <td data-bbox="663 1899 1410 1971">いどりマルシェ開催</td> </tr> </tbody> </table>	時期 (月)	内 容	5月	成功体験をワークする&現状把握	6月	自分の魅力を探す	7月	セミナー内容選定中	8月	いどりマルシェ事前説明会	9月	いどりマルシェ開催	11月	継続的にビジネスを支援する1回目	12月	継続的にビジネスを支援する2回目	1月	継続的にビジネスを支援する3回目	1/2月	いどりマルシェ事前説明会	2月	いどりマルシェ開催
時期 (月)	内 容																						
5月	成功体験をワークする&現状把握																						
6月	自分の魅力を探す																						
7月	セミナー内容選定中																						
8月	いどりマルシェ事前説明会																						
9月	いどりマルシェ開催																						
11月	継続的にビジネスを支援する1回目																						
12月	継続的にビジネスを支援する2回目																						
1月	継続的にビジネスを支援する3回目																						
1/2月	いどりマルシェ事前説明会																						
2月	いどりマルシェ開催																						

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

## 一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団体名 いちごきつず

事業の名称 ママのための社会参画意識向上事業

## 収入

科目	金額 (円)	内訳
一宮市支援金	267,000 円	
事業収入	186,000 円	セミナー受講費 $2,000 \times 6 \text{人} \times 6 \text{回} = 60,000$ マルシェ参加費 $2,000 \times 15 = 30,000 \times 2 \text{回} = 60,000$ $3,000 \times 3 = 9,000 \times 2 \text{回} = 18,000$ $8,000 \times 3 = 24,000 \times 2 \text{回} = 48,000$
自主財源		<input type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 ( )
計	453,000 円	

## 支出

科目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	172,000	172,000
旅費	0	0
印刷製本、消耗品費	23,000	23,000
食糧費	14,000	0
通信費、手数料	147,000	147,000
備品費	0	0
人件費	63,000	63,000
使用料、賃借料	34,000	34,000
その他		
計	453,000	439,000

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※ <sup>1</sup>
	支援金算出額 (円)	
報償費	172,000	講師料 22,000×6=132,000 チラシデザイン料 20,000×2回=40,000
	172,000	
旅費	0	
	0	
印刷製本、 消耗品費	23,000	印刷代 3,000×2回=6,000 消耗品 17,000 (インク、テプラカートリッジ、ガムテープ、 のり等)
	23,000	
食糧費	14,000	1,000×7人=7,000×2回=14,000 (0円)
	0	
通信費、 手数料	147,000	チラシ送料 1,500×2回=3,000 託児委託料 セミナー8,000×6回=48,000 説明会 8,000×2回=16,000 マルシェ 40,000×2回=80,000
	147,000	
備品費※ <sup>2</sup>	0	
	0	
人件費	63,000	当日ボランティア 900×5h×7人=31,500×2回=63,000
	63,000	
使用料、 賃借料	34,000	市民会館使用料=12,000×2回=24,000 大平島公園使用料=5,000×2回=10,000
	34,000	
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを( )書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000円×5h×2人=10,000円 (@900円×5h×2人=9,000円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。